

今回の交流体験実習では、
本校が誇る1, 2学年の精鋭6名が
8月上旬に県立幼稚園で催された夏祭りの、前日準備と当日
の2日間にわたり、自分の役割を自覚し、工夫しながら精一杯、
実習に励む姿を目の当たりにした。北高生の底力と豊かな可能性
を感じさせられた2日間であった。

発行：新潟北高等学校



また、当日は県立大学の学生10名が、夏祭りのお手伝いに駆けつけてくれ、大学訪問と異なる形での交流ができたことは、参加した本校生徒たちにとって貴重な体験であったと思う。華やかな夏祭りであるが、地道な下準備と組織的な役割分担による運営に支えられていることを実感したと思う。生徒たちは体験実習をとおり、生き生きとした表情を見せてくれた。こういった場面を体験できるのも、生徒一人ひとりが役割をいただいたおかげであり、これまでの取組みが実を結んだものと改めて認識させられた。

交流体験実習～H23.8.4〈夏祭り〉



「みんなの輪の真ん中で踊るのが、楽しいね～。」「さあ、手をつないで回るよ・・・」



「そこで、思い切って振り下ろせ～」



「ここは、ヨーヨーすくいで遊べるよ」



「どうぞ、冷た～い、お飲み物はこちらで引き替えています。」



「鋭いシュートで、的をたおそう」



とっぷり暮れて……
「ちょうちんに 灯りともして 大合唱」

事前準備～8.3夏祭り

夏祭りの前日にあたる8月3日の午後に県立幼稚園へ伺った。今回参加した6名全員は初めての参加、園舎に入る前から少々緊張気味。「こんにちは、よろしくお願いします。」出迎えていただいた幼稚園の職員に、大きな声で挨拶をした。いよいよ、2日間に渡る交流体験実習が始まる。



園舎に入ると、生徒たちは、遊戯室に集まり、これからの作業について説明を受ける。まずは、明日の”遊びコーナー”の準備。園の先生から「絵を描く作業が好きな人は手をあげてください。」の問いに対して、すかさず女子生徒たちが手を上げる。生徒たちのもつ能力ってすご～い(^_^)v。後で聞いたら、「単純作業より絵を描く方が楽しいです。園児たちの喜ぶ顔が楽しみ」とのことであった。思いはすでに、明日の夏祭り当日に向けられている。



女子生徒は、絵を描く作業、男子は単純作業と、互いの分担が決まった。

園の先生の指導を受け、作業を進めてい



く。男子生徒は単純作業のつもりが、ポスターを描く作業が回ってきた。今自分に求められている仕事は何か、何が必要か。いやな顔一つせず、瞬時に切り替えて、別系統の作業に集中する。生徒たちの真剣な実習ぶりに改めて、感心させられた。

この後、明日の夏祭りで踊るダンスと、

花笠音頭を踊る練習をして事前準備を終了した。

この広報は、新潟北高等学校ホームページhttp://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top_gakkou.htmlにも掲載しています。